

情報マスターのスキル表

5~6年生



?課題の設定

自分の考え方・判断で
学びを進める力

ねばり強く学ぶ子

自分の学びを
調整・改善する力

情報を収集・選択し、
整理・分析して発信できる力

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

情報活用能力を活用してレベルアップ↑

学びの過程		ステップ1 (めやす1・2年生)	ステップ2 (めやす3・4年生)	ステップ3 (めやす5・6年生)
これまでの学びをふまえた 課題の設定	長期課題	身の回りのことについにふしげさやおもしろさを感じ、自分で決めた課題について、どのように進めか考えてみよう	学んだことや身の回りの生活と結びつけて考え、気になったことや解決したいことを課題として見つけ、どのように取り組むかを計画しよう	教科の学びや社会で起きていることに目を向けて課題を考え、自分の考えた理由や予想をもとに、どのように進めるかを計画しよう
	短期課題	自分の中に生まれた疑問ややつてみたいことから、学びのめあてをもとう	気づいたことや困ったことから、学んでみたい課題を見つけよう	いろいろな見方や考え方で考えて、学びたい課題を決めよう
目的を明確にした 情報の収集	技能	教科書や本、友だちとの話や自分の体験など、身近なところから課題に必要なことを見つけよう	テレビや新聞、インターネットや本など、いろいろな方法を使って目的に合った大切なことを集めよう	自分で考えたやり方で、調査やインタビュー、実験や観察、測量や測定などを使って、目的に合った大切なことを集めよう
情報のつながりを意識した 整理・分析	整理	言葉やかんたんな絵、図、表、グラフなどを使って、自分の考えをわかりやすくまとめよう	表やグラフ、思考ツールなどを使って、集めたことや考えを見やすく整理しよう	表やグラフ、思考ツールを組み合わせて、集めたことや考えをわかりやすく整理しよう
	考察	見つけたことを比べて、共通点やちがい、順番や流れなどに気づこう	いくつかの情報を比べて、特徴や変化、要点や傾向などを考えよう	集めた情報をもとに、理由やしきみ、それぞれの関係を考えて、新しいことに気づこう
	選択・決定	集めた情報の中から、正しいかどうかを考えて、わかりやすいものを選ぼう	情報が正しいかどうか、ほかの調べたことや結果と比べてたしかめよう	その情報が信頼できるかどうか出どころをたしかめて選び、理由やもとになっていることをもとに考えよう
相手を意識した まとめ・表現	まとめ	いくつかの情報を合わせて、わかったことをかんたんにまとめよう	いくつかの情報を比べたり、関係づけたりして、自分の考え方や意見をまとめよう	自分の体験や見学、観察などと、資料やデータを関係づけてまとめよう
	構成	伝える順番を考えて、聞く人や読む人にわかりやすく表現しよう	相手のことを考えて、自分の考えが伝わるように言葉をえらんで表現しよう	話す相手とのやりとりや伝えたい目的を考えて、わかりやすく伝わるように工夫して表現しよう
	手段・発信	相手のことを考えて、写真や絵図、紙しばいなどを使ってわかりやすく伝えよう	相手や目的に合うように、壁新聞やポスター、チラシやスライドなどから表し方を選んで、自分の考え方や意見を伝えよう	伝えたい目的や思いに合うように、スライドや文しよう、表のソフトなどを組み合わせて伝えよう
より良い学び方を意識した ふりかえり・改善	自己調整改善	わかったことや気づいたこと、うまくいったことなどをふりかえり、感じたことを言葉にしよう	学びの進め方やわかった理由などをふりかえって、自分の学び方のよかつたところや直したいところを見つけよう	自分の学び方をふりかえって、もっとよくなるように考えながら、次の学習に向けてやり方をととのえよう

参考：文部科学省 情報能力体系表例、大阪府情報活用能力ステップシート、羽曳野市立西浦小学校・豊中市立刀根山小学校情報活用能力の体系表